



あおぎり

学校の教育目標
立志 共創 自立

◇全校道徳「命の大切さ」を学ぶ

4月24日に、「命の大切さ」について講演会を開催しました。交通事故で次女を亡くし、深い悲しみや苦しみの中でお考えになったことを切々とお話してくださいました。

大切な人を突然亡くす、親が子を失うことが心身を裂く苦しみであることと同時にどのお言葉からも、親の愛の深さが身に沁み、大切な人を思いながら生きることについても考える大事な機会になりました。

生徒は真摯に聴き続けました。講演の後の感想からは、今の自分が「命」について真剣に精一杯考えたことがひしひしと伝わってきました。一部を紹介します。

《授業後の生徒の感想より》

今日の話聞いて、自分は園児の時に、大好きなおじいちゃんを亡くして、その時は、まだ幼かったんで、死についてまだわかっていなかったのですが、骨になったおじいちゃんを見て、そこで初めて死について知りました。もう会えないという悲しみとずっとたくさん遊んで話して笑い合ってたかったという後悔がとて大きかったです。人は誰だって、最後は死がまっているから、僕の父や母、姉、ペットも最後は死ぬ。そこで初めてありがたみに気づいては遅い。「ありがとう」というたった5文字を言うだけなのに、はずかしい。でも、自分は本当に家族のことが大好きで大切な失いたくない存在だから、今日からでも「ありがとう」の一言は大切にしていきたいと思いました。

僕はよく家で、テレビを見て「人が死んだ」と知ります。いつも僕はこういうニュースを見て、何も思いませんでした。「自分じゃないから」と思って。でも、今日お話を聴いて、人の命の大切さがとてもよくわかりました。僕も、「べつに自分なら死んでもいい」と思っていたけれど、それが悲しく思いました。僕は、もっと、当たり前を大切に、自分を大切にしたいです。

今日、お話を聴いて、一番は「命が大事」ということが心に残りました。朝起きて、ご飯を食べて、寝るというこの一日の流れは当たり前のこととずっと思っていました。私には、妹がいます。もし、突然妹が目の前からいなくなったら・・・と考えると、とても信じられないと思います。ずっと一緒にいる家族だからです。でも、交通事故は100%起きないということではないから、話を聴いているうちに胸がぐっとなりました。自分の家族には起こらないだろうと思いついていて、もし、事故にあった時は、とてもつらいです。家族は本当に大事にしていけないと感じることができました。妹とけんかになって、妹、お母さん、お父さんなんか大嫌いと思うことがあったけれど、いなくなったらけんかさえてできなくなるから、そんなことは思わず、今を大切に生きていき、「ありがとう」という言葉を忘れずに伝えていきたいと思っています。

◇全校道徳「SNS との上手な付き合い方」

5月1日に、e-ネットキャラバン（一般財団法人マルチメディア振興センター）の方に講演していただきました。SNS でのトラブルを、自分自身で、起こさず、避けることができる力をつけてほしいと願っています。インターネットに潜む主に7つの危険についての話でした。

① ネット依存

→何時まで、どこで、いくらまでなど、話し合って納得するルールづくりをする。

② ネット詐欺

→クリックせず、無視する。

③ ネットいじめ

・文字だけのやりとりは誤解が起きやすいことを念頭においておく。

・いじめは犯罪になる

→一人で抱え込まず、保護者などに連絡する。

④ 誘い、なりすまし

・危険な人とつながってしまう。

・暴力被害や金銭トラブル、性的犯罪の被害につながる場合がある。

→ネットだけの知り合いには会いに行かない。自分の写真を送らない。

→なりすまし等は「188」で相談できる。

⑤ 著作権、肖像権の侵害

・海賊版などを使用し、加害者になる可能性がある。

→人の写真や動画等を勝手にネットに載せない。

撮影する時や載せる時は、許可を得る。

⑥ 個人情報の漏洩

・一度書いたことや載せた写真は消せない（デジタルタトゥー）

・写っている景色などから写真の位置情報がわかってしまう場合がある。

⑦ 不確かな情報の拡散

・名誉棄損、損害賠償の請求につながる場合がある。

→安易に情報を拡散しない。情報をうのみにせず、いろいろな情報に接して、信ぴょう性を見極める。